危　斗宿
齣本部　神誠館

▲三碧　元氣の生じ來る日新天地に活動するによし　艮と巽と壬吉
▲六白　心堅實なれば月上の引立て有て出世すべし　兌と乾と壬が吉
▲九紫　意志堅固なる時は有終の幸福を享くべき日西と艮と乙が吉

て蠶絲工及穀菽品評會を開き中里技手出張審査を行ふべしと

京天文臺を視察し十七日歸校の豫定なりと

四日午前十時高崎署へ集合しポンプ使用法其他について練習をなし

會せりと

春淺い不忍池畔
打寛だ會合
◇大川氏を中心として
◇口達者の温かい集り

◇…奥上州の山の王樣の樣な概を見せてゐる千明賢治氏は事業關係から本邦實業界の雙璧たる大川平三郎田中榮八郎兄弟の幕下に客將として雄飛してゐるのは人の知る處

◇…偶 議會召集中で同窓のよしみある飯塚代議士や舊知の生方淸水兩代議士等が滯京してゐるのを機に親分筋の大川田中二氏を首め田幡鐵太郎氏とこれも五六日前から上京中の本社の篠原編輯局長なんどを春淺い廿二日の宵池の端の伊世梅に招じ水入らずの打寛いだ酒宴を張つた

◇…千明主人役から自分の周圍にある東京と田舍との昵懇な人々を集めたい多年の宿望が叶つたよろこびを叙べ大川氏からは事業の人格化と云ふた事に就て所懷を吐いた後で下谷に於ける柳巷の名花として聞ねてゐる明眸皓齒な盻子拍子が御得意の足舞い手舞ひ

◇…膝を交へ襟をとつて口達者の連中談鋒まさに迅發の形廿三貫のなんとやら云ふ老妓と生方彌次將軍とのおいどの相撲にどつと興を添ね斯界に名を馳せた竹本國壽が豐澤猿幸絃で冴ねた咽に義太夫の一くさりヤンやの喝采を呼んで一同てんでに退散

◇…寫眞は宴半に一座の何んとやら云ふ幇間の寫したもの向つて左から生方代議士田中榮八郎氏大川平三郎氏飯塚、淸水兩代議士田幡秘書役本社の篠原と一番右端が主人公の千明賢治氏

桐生でも問題される
市長助役增俸
豫算委員會に於る
賞與を他の吏員と同樣平均に取る事に決定す

桐生市の十五年度豫算市會は議案調査のため三日間休會して連日に亘り各分科會で委員が詳細の調査を行つてゐるが旣に二十二日の一次會で質問應答があつたので二十六日繼續市會では總て急速に可決されると見られてゐるが

就中 一般の注目を惹いてゐるのは市長助役の俸給增額問題で現在市長の俸給は二千四百圓を六百圓增して三千圓となし、助役は千八百圓を二千圓とすることでこれは前橋高崎二市に比較しての問題であると云はれ而して年末の賞與に於て他の吏員と同樣に平均に取ると云ふ極めて合理的な方針であるが他の一說を聞くと

市長 が豫算を作る物でそれに依つて自己自身が賞與を取る事は矛盾してゐて前橋なぞと同樣に增額となつた場合は全然賞與を受けない事になる模樣で結局煎じ詰めると從來年末賞與五百圓程度であつたから僅に百圓の增額に過ぎないが職を辭す場合には慰勞金は本給に依つて定められるから有利な事になる譯である

嘉納師範
柔道を
東宮殿下に
御進講する

【東京電話】東宮殿下には明二十五日午後二時から赤坂東宮假御所に靑年指導の大家たる講道館長嘉納治五郎氏をお召しの上御進講を聞召される筈であるが同氏は『靑年と柔道』と云ふ題で約二時間に亘り正義の充實と云ふのでなく所謂我が武士道の根源としての柔道精神に基き如何に現下の靑年を指導訓練すべきかに就き講演申上げる筈で側近奉仕者も陪聽仰付けらるゝ由

海兵檢査視察
藤井少將來縣

目下施行中である本縣に於ける本年度海軍志願兵檢査狀況視察の爲め橫須賀海軍鎭守府人事部長海軍少將藤井鎌介氏は二十四日午後五時前橋驛着列車で來橋本町白井屋旅館に投宿したが今二十五日前橋市役所樓上に於ける檢査狀況を視察の筈であると

高工學術談話會

桐生高等工業學校では二十五日午後七時から同校講堂で第五十回學術談話會を開き小川教授の石綿と其の應用に就て有益なる講話があり例に依つて一般の來聽を希望してゐる

常例市當局虐めの
高崎市會繼續
當局痛い處を攻擊され
しどろもどろの周章振

高崎 繼續市會は廿三日午後二時高崎市公會堂に於て開會出席岩井議長病氣缺席の爲め相澤副議長議長席につき開會するや大塚氏は市會召集告知及議案配付洩れ等につき質問し番外市長は係員に對し戒告し目下調査中にて責任を感じ居るより再び失態を繰返さぬ樣注意すべしと答ね中村氏は長野堰議員選擧名簿脫漏に關し質問するや番外星野助役は之れに答へ

失態 を陳謝し藤井氏は議論德義について希望を述べ上越線八高線の開通停車場擴張等に對する市長の抱負を問ひ市長これに答へ浦野氏は長野堰議員選擧名簿に對し更に質問し星野助役說明し、矢島氏は告知漏れ問題につき當局に注意し漸く日程に入るや篠原氏は豫算編成について委員會の決議を無視せしは怪しからぬと繰越金につきて質問し、關氏は

長野 堰增水工事寄附金について市稅を增稅することなきやと問ひ市長は適當なる財源ありと答ね三時二十分休憩同三十分再會篠原氏は微に入り細に亘つて質問を連發し當局しどろもどろに答辯して助役增俸問題に入るや木村、松井兩氏より痛い處を突込まれ更に松井氏より伊勢崎道問題篠原氏より

火災 保險料につき質問あり藤井氏は議事進行上歲入出豫算全部を一括して附議すべしと動議を提出してこれに決し中村氏は南一條通り認定廢に就て質問し關氏は市長の星野助役增俸案に關する答辯中相澤副議長が曩に市長選擧の際作製せる議事錄を正當と認めしは不都合しないと斷じたるも右は市長の權限を越ゆ

內務 大臣の職權に立入つたものでは爲きやと突つ込み市長は効力について言及せしにあらず村度せしまでなりと逃げ容易に本問題に入らず議場は亂調子となり點燈時となりしより相澤議長は其まゝ散會を宣したりき時に午後五時四十分なりし尙ほ昨二十四日も午後二時より引續き開會せり

群馬武道大會
廿八日に開く

群馬郡澁川町小學校講堂內に於て來る二十八日同郡第二、第三兩區內聯合靑年會の武道大會を開催する由にて各關係者は昨二十四日澁川校に集合して之れが番附等を編成せりと

麥作景況
本縣下最近の

本縣當局ではこの程主務省に宛て最近に於ける麥作景況を左の如く報告した

◉播種以來の生育の良否及事由　播種期の天候順調にして發芽良好、其の後氣候乾燥に失したるも氣候概れ高かりしを以て生育平年に比し良好なり

◉播種面積　前年に比し增減步合及其の事由

	田麥	畑麥	平均
大麥	三〇割分	二五割分	二七同
小麥	三五	三〇	三二
裸麥	一	一	一
平均	三三	二七	三〇

副業中重要なる機械業不振なるのみならず麥類の價格比較的順調にして就中小麥比較的有利なるにより其の作付反別增加せり然れども裸麥は作付面積縣下を通じて約五十町步に過ぎず年々大なる增減なし

◉施肥量ゝ前年に比し增減步合及び其の事由　播種期に於ける肥料就中大豆粕頗る高價なりし爲め本年度麥作の元肥は前年に比し其の價格に於ては略ぼ大差なけれども其の施用量に於ては五分餘を減じたる見込なり然れども其の後麥價好況をしたるに依り追肥の施用量施肥量は前年に比し大差な込なり

◉手入れの精粗及其の事由　價比較的良好なるを以て之が手入れに關しては農家とも相當留意しつゝあり

◉麥栽培を中止したる場合田畑は如何なる作物に換へ居るや又其適否に關する意見　△麥作栽培を中止せる畑地の大部分は桑園に水田裏作の大部分は自給肥料の原料たる綠肥培に利用せられ其の一部分は比較的有利なる園藝作物の栽培に利用せられ何れも相當の結果を收めつゝあり

今年の酒
稅金は高くなる品物は
捌けず酒屋は頭痛鉢卷
質は豫想外に良好な

酒造稅の增徵問題に就いて本縣酒造組合に於ても關東北の同業組合聯合會と相呼應して之が反對の氣勢を揚げ屢主務省に陳情する處があつたが、とに角酒造稅は從來の一石に對する三十三圓が四十圓に增額することに議會を經過して十五年度から

◇…實　施される運びに殆ど決定を觀たが、これが爲に現在本縣の酒造石高年額六万七千石に對して四十八万圓の增稅を觀る譯になるのである、金子本縣商工技師の語る處に依ると、縣內酒造は仕込當初から氣候の變化が甚だしく品質の劣變は一般に氣遣はれてゐたところであるが、巡視した模樣に依ると案外順調に仕込を大體終つてゐる、而して

◇…增　稅案が愈決定されて實施されるとなると、釀造家にとつては、近年景氣の惡い上に倚ハケロが減少して打擊を蒙るわけであるが、目下の釀造物は從來の三十三圓の稅額で之を、吐き出す時は增稅された見積で賣り出すことが出來るのであるが、これとても景氣の如何に依るもので、秋頃になつても更に此の不況狀態が

◇…挽　回されないとした酒造家にとつては苦境を增すりである、增稅になる見込がたちさへすれば、造石高は急に一割乃至二割は增石するものであるが、前記の如く、不況關係で酒造家が疲勞しきつてゐる結果と、今後の景氣の見定めがつかぬ結果、增石の模樣も更になくかへつて昨年度よりは減石してゐると

兒童保護講演會

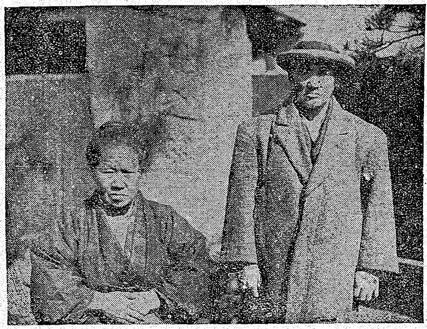
邑樂郡では本縣社會課の兒童保護獎勵の趣旨に基き二十七日午後一時から館林小學校に同町內の兒童の母姉並に處女會員女學校生徒等を集め兒童保護講演會を開催當日は本縣から講師を派遣する筈である

勢多醫師會活動

勢多郡醫師會では社會の進步に伴ひ衛生上施設すべき事項多々あるも就中防疫、國民衛生思想の普及社會的衛生事業の如きは現在の狀況に鑑み最も急務であるとなして同會では逐年衛生思想の普及を計り郡民の健康增進を目的とし夏季ポスターの配付、衛生講話、衛生活動寫眞會等を開催して來たが本年も尙引續いて郡內數ヶ所に於て開催し一層衛生思想の普及徹底を計畫し目下場所及び日割を選定中であるが本年度

前橋にも狂犬

前橋市紅雲町二三七肥料商岸方の畜犬は數日前から發病し二日遂に斃死したが該犬は



裏から見た
大前橋（八）

增加する市民に
口腹の慾を
滿たす可く屠られる
牛馬や豚のかずかず

スルスルと空に向つてのび上つてゐるポプラの木の柔肌へ製練所から吐き出す眞つ黑な烟がかすめて行く嵐の前の靜けさの樣なしじまが黑板塀に取圍まれた屠場にしのびよつて鎖のすれ合ふ音がカランカランと冷たい響きを塀外へ送る每月々々五百頭から六百頭の牛や馬や犢や豚の命を絕たれて

七万市民の舌三寸の犧牲

に供せられて行く前橋屠場では十三年一日の樣にこゝを根城に暮して來た鹿島幸次郎爺さん夫婦が血なまぐさい庭の一隅に住まつてゐる十三年來こゝへ送られて來た幾万頭とも知れない牛馬や豚は悉く鹿島爺さんの手で命を絕ちきられて行つたのであるが佛の樣な柔和な優しい顏の爺さんが生くるが爲にかうした仕事をせねばならないことを考へさせられる時

生存の鬪爭の涙ぐましさ

を覺えさせられる百二三十貫もある丸々に肥つた牛が白布で目を隱されコンクリートでかためられた屠場へ引き出されてうなだれてゐる時爺さんは一氣にハマの頭で眉けんをなぐりつけるともろくも牛はどたりと倒れてしまふ倒れるやスグのどをかき切り血を吐き出させるがどす黑いタラタラと流れ出る血はバケツに一杯牛位になる血

をとつてから

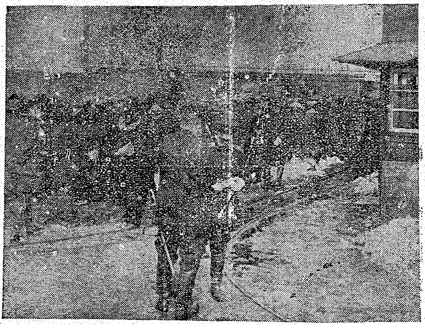
最後の止めをさす爲にとさしこまれた牛は再び起き上る勇氣もなくそのまゝ大きな死骸となつて橫たわるとセどで引き上げ二つに引き割いて後は料理人の冴へた腕と切れ味のいゝ肉切庖丁とで切りさいなまれ數知れない市內の洋食やゝ肉やへ運ばれて行く剝がされた皮は悉く坂本綱次郎さんが一手に引受けてそれぞれ加工されて行くが流れ出た血はほしかためて

立派な乾血肥料となつて

行く牛が一頭一圓二十錢馬が八十錢犢が四十錢山羊が四十錢豚が四十錢の屠殺料で殺されて行くこれ等の中にも時には迫つて來た死を感づくものが一年に四五頭はあるといふ死を感づいた牛は角をつき立て目を据へて荒れ狂ひ人といふ人を目がけてつゝかけ來るかうした時には馴れきつた鹿島爺さんも手に負へず木の上や屋根の上へ逃げ上つて牛のおちつくのを見すましてから

その友達牛をつれて來て

食ひ物をさもにさせ次第に氣が和いで元の平靜にかへつた頃一氣にハマの頭でたゝきつけ息の根を止めてしまふ日に幾回となくくり返されて行くかうした慘虐な場面が一手町の屠場では伸びて行く大前橋と共に增へて行く（寫眞は鹿島夫婦と畜魂碑）



東毛農民團一行が足尾銅山間藤驛前工作所庭前にて廿三日星野足尾署長中央に立つて訓示の場

すと

棄した

母校の興亡に
必死の卒業生
廿八日に大會を開く
瀕死の高山蠶業學校

高山社蠶業學校縣移管問題に關して學校關係者幹部に於ては滿一ヶ年有半に亘つて屢協議を重ね或は計劃を替へ手替品を替へて種々盡力するところがあつたが十万圓の寄附醵出を得る運びに至らざる狀態で、遂に廢校の止むなきに至らんとして去る十七日最後の運命を決すべく同校に同窓生並に關係者

幹部 の協議會を開いたが其の結果、愈同窓生が蹶起猛然母校興廢の瀨戸際からブリ返さうと猛運動を起したことは旣報の如くであるが其後群馬郡に於ては過般高崎市に於て同窓生大會を開いた結果六十餘名出席いづれも平均割當額四十圓以上醵出することに決し尙勢多郡に於ては二十六日午後一時から前橋市紅雲町蠶業取締所に於て

郡內 八十餘名の同窓生大會を開いて同一步調に運動を採るべく協議を行ふ筈である、其の他佐波郡では多野郡に次いで多數の

を擁するだけに、いち早く協議決同窓生定を見てゐる、一方埼玉縣に於ても各郡別にそれぞれ同窓生大會を開いて猛運動を起してゐる結果意外の好成績を擧げてゐる模樣で廿八日の同窓生大會は活氣に滿たものであらうと期待されてゐる

涵活動寫眞會

郡總社町元景寺住職大龍卓雄き漢學を修めし門下生四十は曩に謝恩の目的を以て溫故組織し相互の親睦を圖り公共に貢獻する事となり居たるが二十七八兩日午後六時より同內に本縣社會課の民力涵養活眞大會を開催し會員總出にて凡てを斡旋し町民に洩れなく觀覽せしむる由

蠶業取締所及び佐波郡境支所に於て昨年から開講中であつた本女子蠶業講習會は二十七日午前時から何れも修了證書授與式を行の筈であるが修了者は前橋本十八名境支所十四名合計三十二名であると

東京株式現物

汽船　新鄉　八　一四　同新　三
洋糖　九二七　六六四　同新　三〇三　同新　四六八

看板獎勵審査
前橋商議主催

前橋商業會議所主催に係る第二回看板獎勵審査會は目下添田技師商品陳列所の近藤技手が嚴正を旨として審査中であるが審査希望者は百八十餘名でうち昨年の再審希望者は二名である今月いつぱいで審査を完了し三月七日には同所樓上で褒賞授與式を擧行する由因に成績は昨年よりも數段の進步を示して居ると

補充兵の入營
勢多本年度の

勢多郡に於ける本年度の未教育補充兵召集者は左記廿一名で教育期間は何れも九十日づゝ高崎第十五聯隊は四月廿六日入營、近衛步兵聯隊は四月一日入營、鐵道聯隊は五月一日入營である

△十五聯隊入營者　敷島須田信壽富士、富士見川合十一郎、北橘南雲己之勝、橫野藤川庫之、南橘關口長次郎、同內田名男之桂萱岡田右平、北橘森田五郎、東村高草木巳之吉、木瀨村須谷幸治、粕川渡邊角次郎、芳賀須田一巳、同六本木宅治

△近衛步兵第三聯隊へ入營する者　富士見荒井金次郎、新里村田部井兼吉、東村齋藤鉛藏、桂萱高橋明治郎

△電信第一聯隊へ入營する者　下川淵岡本靜雄、荒砥須藤仲重郎

△鐵道第一聯隊へは東村腰塚藤介君が一名入營する

產業組合登記　公告

有限責任黑保根信用購買販賣利用組合變更

一理事星野元治小野里武平中村千喜深澤友太郎田沼牛松井出源三郎須[illegible]澤和三郎神澤笑次郎鍋木[illegible]作ハ大正拾五年貳月壹日重任シ左記ノ者同日新ニ理事ニ就任ス

早野喜助　勢多郡黑保根村大字塩澤參百七拾四番地

島宮治三郎　同郡同村大字上田澤五拾貳番地

大正拾五年貳月貳拾日登記

前橋區裁判所
花輪出張所

產業組合登記　公告

〇有限責任木瀨信用購買販賣利用組合變更

大正十五年二月一日左ノ者理事ニ就任ス

松村米吉　勢多郡木瀨村大字東上野三十二番地

〇有限責任原之鄕信用購買販賣組合變更

大正十五年一月二十六日左ノ者監事ニ就任ス

阿久澤勇三郎　勢多郡富士見村大字小澤二十番地

大正十五年二月二十三日登記

前橋區裁判所

晴
晴風
リヨ刻

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。